

少人数部門でも取り組める 医療被ばく低減施設認定 ～被ばく低減活動が組織に与えた影響～

公益社団法人 鳥取県中部医師会立 三朝温泉病院 放射線科 | 中松裕輔

当院は少人数の放射線科でありながら、2年間の取り組みを経て医療被ばく低減施設として認定された。この経験を通じて、放射線防護の重要性を改めて認識し、患者中心の医療という意識を共有するに至った。少人数の部門でも認定取得が可能であること、そしてこの取り組みで組織全体の意識改革を促す貴重な経験を得られたので紹介する。

Despite being a small radiology department, our institution successfully obtained certification as a medical radiation dose reduction facility. This was achieved through a dedicated two-year effort to implement comprehensive radiation protection measures. This initiative has not only reinforced the paramount importance of radiation safety, but has also fostered a robust culture of patient-centered care among our staff. Our experience demonstrates that even smaller departments can attain such certification, and highlights the broader organizational value of this accreditation process.

はじめに

当院は2018年12月1日付で、山陰地域初（全国で87番目）の医療被ばく低減施設認定を取得し2024年6月に更新通知を受けた。この認定は、公益社団法人日本診療放射線技師会（以下JART）が、患者さまに「安心できる放射線診療」を提供するために設けた第三者評価事業である。当院の理念である「安全・安心で良質な医療を提供し、常に地域から信頼される病院」と合致するもので、施設認定の取得に向けて、放射線科を中心に約2年間取り組んだ。JARTのホームページに掲載されている「医療被ばく低減施設一覧」には、

